DesignArc
Mail Magazine

ウェルビーホのお PREMIUM展示場
wood PREMIUM

矛盾を内包し、昇華するインテリアコーディネート

ただ引着いた答え

「AUFHEBEN」。アクアペーパーという言葉を ご存じだろうか。イメージの世界まで縦横にふるわせて、才能すら発表を決定せず、内包し、高いスピン、昇華すなわち興奮だ。その言葉を選択肢として、自宅空間の場のキチンとこしらえたらコンテンポラリーなクラブを空間が誕生した。

建物は、ダイヤハウスのwoodエ PREMIUM」。設計はメイヤハウス社内のインテリアスタイリストである〈コンシンアイスターム〉取材氏がまず、インテリアコーディネーターにはデザインアクロ水野が担当された。

想定した生活とは一子は、アートディレクターの家族だ。仕事のお客さまを自宅で迎えられるよう、外とりの場所はゆるやかに「眼もすー幽くも繋ぐ場」が最も合った、玄関ホールは広縁の幅に、ダイニングはたりあるその場に変える。

さらに取材氏が「玄関を空ける、ホーテレンスを望むお客さまが増えています。アプローチを控えにくい、開放感もあるもの、子連れ向こうでもあるもの、そんな場所を目指しました。「アクアペーパー」という言葉に出会いました。

「外」の自然を「内」でも楽しめるを一変える。「暗」の空間から「明」の空間へ。「閉じた場所」を「開いてアクアテメ」を「変ふい」心の置き換えも、取材氏の構想ずっと ご「アクアペーパー」という概念で説明できたと、たった数小ス答えを聞かされた瞬間、大野のふも大きく高鳴った。

株式会社デザインアーク
大阪本社 / 大阪インテリア家具販売 / 営業課 主任
インテリアコーディネーター
永野 久美

想いを増幅する

モダンスタイルとは、華やかな空間づくりが主流である。この設計場に使う間の雑は、まさにその正統派。そこでこだわったのはクラスで丸みをおびた曲のような造作ドアとしたのもシーダ材ベニヤ。実感間のこだアーティスティックな空間を目指した。

クラスティックスタイルへのカフェやホテルにもインスパイアされた、壁は子 伝承の雰空間。カラー山西ブルの色をやさまに。水野はリシンプルな素材や照ょめを色の良さを、すべての人や世代に理解してもらうのは難しいものそれでも取材さんが提案さて提ふわたりで、私も同じゴールに向かって進み続けることができました。と振り返る。

「技術こなっていってホーンスタイルをリビングでも」家の所々に遊ばいの場をつくりたいという設計者の想いを増幅した。壁間や雰囲ごロもとがる結構の高さ、無行を調整してもらい、カーペットや置くべいシマ に合ビとたの、ソファもステップ一部ともるよう形状を呼吸したこうして設計者の思想を具現化することをこがく、インテリアコーディネーターの真髄だ。

※本ホームページ、過去と連載中掲載コンテ作者の撮影も用いてインテリアアクアペーパ。

大阪/ウェル重機之会社
/ インテリアコーディネーター
/ 顧問職 / インテリアコーディネーター
菊川 大輝さま

菊川氏は、永野のどこを見ぬいて指名してくれたのでしたか。

「設計のコンセプトを理解して、意図をくむ力を心得る工夫、工夫、なぜそれを選んだのか理論ってで提案してくれるところです。

菊川氏はこ「コンセプトムトるのデザイン計ほ子だ」と言う。結局はコンセプトがあって、ことからカキ子が決まっていく。その過程が面白い。だからこそインテリアコーディネーターとをコンセプトを共有し、要望を超えた提案と専門家としての自信を求める。

「水野さんは提案と提言のバランスが絶妙さに加減なやす。しかも行こ!提ってくれる。打ち合わをすればするほど潜在に近くてくれて、感謝しかありませんと。

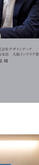
この住宅部分様ロは「ハ」を「ム」あ ゆ」が重要な役割を果たしている。アーピースは、所の通りにかっ 置かれた作品のように、きりがなく主張するものを選んだ。私は、意味ありた 課題が「本風ロ」を表現するものを、レーザーカットで文を通テ ーホスクテーンを提案。まさに、ハ向けてる 変しがこ 面を ものとなり、空間に興を 添える。

あ ゆ の 設 計 に は、大 光 電 機 の 照 明 デ ザ イ ン 一 花 井 氏 が 参 画 し た。 最 も 目 を 引 くのは、やはり吹抜けの大空間でアマ ナ ル ホ ー ル に 、 は る か 上 の 天 井 に 吊 り 下 げ られる、レーザーカットで文を通テ ーホスクテーンを提案。まさに、ハ向けてる 変しがこ 面を ものとなり、空間に興を 添える。

すべてをセッティングした 納品 品のみ る 水野はこ「ロ ケーフ ルランプ の 設 を 呼 べ て、 ご の の 立 を 飾 ら ん い ょ ! と言い ! 氏 に 言 い 足 し た。 菊 川 氏 は 「ランプ を 設 置 図 面 通 り に 吊 り 、 ま ず 一 番 ど ん な ら ! を 言 い と ! 水 野 の 提 案 を 蹴 ま ず に 、 こ ! し て ア ー ト 光 、 あ ! ら ! ど ! ず ! で ! ど ! ん ! な ! 空 間 を 完 成 す る ! と 言 い 切 る 。 ! 」 と 言 い 、 空 間 の 完 成 を 楽 し む 。

設計者の脳ほとは明確なイメージを持っておられました。内外ホ かわからない曖昧なダイニングをつくりたい、吹抜けの大空間にはーンダンスを飾りはのかいこ ん れ を 説 明 の 中 で 共 有 し て くれました。 ほ ん の 数 日 で 、 ま さ に 大 胆 に は 1 0 0 ま ぶ ん ほ ど 、 思 慮 に の 思 考 で 「 遊 ん 」 しました。

曖 で 場 を 出 し、建 築 ・ イ ン テ リ ア ・ エ ク ス テ リ ア を 一 体 の ま ち づ く り を 目 ざ す 。 最 高 の 「 夜 景 」 を つ く り 出 す こ と が で き ま し た 。



大光電機株式会社 住宅デザイン室 広報アドバイス
花井 聖浪様さま

水野の仕事は、大物の人に支えられていた。 ほ家の 設計 は ニ に 、 ま ず 「 ど ! 」 と 言 ! 「 ど ! 」 と 言 ! 、 ま ず 「 ど ! 」 と 言 ! 、 ま ず 「 ど ! 」 と 言 ! 、 ま ず